

### 【前期 第3問】

B男(身長173cm、体重68kg)は、夜中居酒屋で共に飲酒をし酩酊状態になったA女をなだめながら帰宅していた。Aはシャッターにぶつかって尻もちをついた。それをテコンドープサボム(副師範・三段)の腕前を持つスリランカ人男性X(身長190cm、体重85kg)が目撃し、BがAを暴行しているものと誤解して、BとAの間に割って入った。Aを助け起こした後Bの方に両手を差し出したところ、Bは防御する姿勢を見せた。それをボクシングのファイティングポーズだと思ったXは、自身とAを守る為にテコンドーの技であるヨットラチャギ(横回し蹴り)をBの腹部に当てBは内臓破裂による出血により死亡した。

Xの罪責を検討せよ。

参考判例：最高裁昭和62年3月26日決定